

X 土木工事市場単価

・土木工事標準単価

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

改 正		現 行		備 考																																														
X 土木工事市場単価・土木工事標準単価		X 土木工事市場単価・土木工事標準単価																																																
X～2000 法面工		X～2000 法面工																																																
1 適用範囲		1 適用範囲																																																
【省略】		【省略】																																																
2 市場単価の設定		2 市場単価の設定																																																
2-1 市場単価の構成と範囲		2-1 市場単価の構成と範囲																																																
【省略】		【省略】																																																
2-3 加算率・補正係数		2-3 加算率・補正係数																																																
(1) 加算率・補正係数の適用基準		(1) 加算率・補正係数の適用基準																																																
表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準		表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">規格・仕様</th> <th style="width: 60%;">適用基準</th> <th style="width: 10%;">記号</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">加算率 施工規模</td> <td style="text-align: center;">標準</td> <td style="text-align: center;">S₀</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">全体数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td style="text-align: center;">S₁</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">S₂</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">S₃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">S₄</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補正係数 時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₁</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。</td> <td style="text-align: center;">K₂</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td style="text-align: center;">K₂</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕</td> <td style="text-align: center;">K₃</td> </tr> </tbody> </table>		規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁	S ₂	S ₃	S ₄	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	K ₃	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">規格・仕様</th> <th style="width: 60%;">適用基準</th> <th style="width: 10%;">記号</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">加算率 施工規模</td> <td style="text-align: center;">標準</td> <td style="text-align: center;">S₀</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">全体数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td style="text-align: center;">S₁</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">S₂</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">S₃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">S₃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補正係数 時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₁</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。</td> <td style="text-align: center;">K₂</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td style="text-align: center;">K₂</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕</td> <td style="text-align: center;">K₃</td> </tr> </tbody> </table>		規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁	S ₂	S ₃	S ₃	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	K ₃	
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																															
加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量																																															
	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁																																																
		S ₂																																																
		S ₃																																																
		S ₄																																																
補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																															
	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂																																																
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂																																																
	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	K ₃																																																
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																															
加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量																																															
	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁																																																
		S ₂																																																
		S ₃																																																
		S ₃																																																
補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																															
	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂																																																
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂																																																
	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	K ₃																																																
【省略】		【省略】																																																

表内、字句の追加

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考																																																																																								
(2) 加算率・補正係数の数値		(2) 加算率・補正係数の数値		表内、字句及び数値の追加、改正																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">機械播種施工による植生工</th> </tr> <tr> <th>植生基材吹付工</th> <th>客土吹付工</th> <th>種子散布工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>15%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>25%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>25%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>25%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>45%</u></td> </tr> <tr> <td>S₄</td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>60%</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合</td> <td>K₃</td> <td>0.80</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号		機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>15%</u>	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>25%</u>	S ₃	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>45%</u>	S ₄	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>60%</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">機械播種施工による植生工</th> </tr> <tr> <th>植生基材吹付工</th> <th>客土吹付工</th> <th>種子散布工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>10%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>10%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>250 m²未満</u> <u>20%</u></td> <td><u>250 m²未満</u> <u>20%</u></td> <td><u>250 m²未満</u> <u>40%</u></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合</td> <td>K₃</td> <td>0.80</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号	機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>40%</u>	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—	表内、字句及び数値の追加、改正			
区 分	記号			機械播種施工による植生工																																																																																								
		植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																								
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																								
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>15%</u>																																																																																								
	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>25%</u>																																																																																								
	S ₃	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>45%</u>																																																																																								
	S ₄	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>60%</u>																																																																																								
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10																																																																																								
	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—																																																																																								
	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—																																																																																								
区 分	記号	機械播種施工による植生工																																																																																										
		植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																								
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																								
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>																																																																																								
	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>																																																																																								
	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>40%</u>																																																																																								
	—	—	—	—																																																																																								
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10																																																																																								
	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—																																																																																								
	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—																																																																																								
<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、S₂、<u>S₃</u>または<u>S₄</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。</p> <p>(注3) 植生基材吹付工における補正係数 (K₁、K₂) については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。</p> <p>(注4) 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付に限り施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注5) 種子散布工については、1 工事において、法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注6) 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃、ラス金網設置費用を含まないための補正である。</p>		<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、S₂ または <u>S₃</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。</p> <p>(注3) 植生基材吹付工における補正係数 (K₁、K₂) については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。</p> <p>(注4) 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付に限り施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注5) 種子散布工については、1 工事において、法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注6) 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃、ラス金網設置費用を含まないための補正である。</p>																																																																																										
表 2-3-3 加算率・補正係数の数値		表 2-3-3 加算率・補正係数の数値		表内、字句及び数値の追加、改正																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="4">人力施工による植生工</th> <th>ネット張工</th> </tr> <tr> <th>植生マット工 植生シート工</th> <th>植生筋工</th> <th>筋芝工</th> <th>張芝工</th> <th>繊維ネット工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td><u>250 m²以上</u> 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 300 m²未満 <u>40%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 300 m²未満 <u>40%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 300 m²未満 <u>40%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 500 m²未満 <u>20%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>250 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>35%</u></td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号		人力施工による植生工				ネット張工	植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	S ₂	<u>250 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>35%</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="4">人力施工による植生工</th> <th>ネット張工</th> </tr> <tr> <th>植生マット工 植生シート工</th> <th>植生筋工</th> <th>筋芝工</th> <th>張芝工</th> <th>繊維ネット工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td><u>500 m²未満</u> <u>15%</u></td> <td><u>300 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>300 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>300 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>500 m²未満</u> <u>15%</u></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号	人力施工による植生工				ネット張工	植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	S ₂	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>	—	—	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05
区 分	記号			人力施工による植生工				ネット張工																																																																																				
		植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工																																																																																						
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																						
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>																																																																																						
	S ₂	<u>250 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>																																																																																						
	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>35%</u>																																																																																						
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05																																																																																						
区 分	記号	人力施工による植生工				ネット張工																																																																																						
		植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工																																																																																						
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																						
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>																																																																																						
	S ₂	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>																																																																																						
	—	—	—	—	—	—																																																																																						
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05																																																																																						
<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、<u>S₂</u>または<u>S₃</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 1 工事において、植生マットと植生シートを使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模合計施工数量で判定する。</p> <p>(注3) 張芝工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。</p>		<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、<u>S₂</u>または<u>S₃</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 1 工事において、植生マットと植生シートを使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模合計施工数量で判定する。</p> <p>(注3) 張芝工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。</p>																																																																																										

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																						
<p>X～2020 吹付砕工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ S₂ S₃ <u>S₄</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>記号</th> <th>吹付砕工</th> <th>ラス張工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>500m以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>250m以上 500m未満 <u>20%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>20%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m以上 250m未満 <u>30%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>35%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>50m以上</u> 100m未満 <u>50%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>45%</u></td> </tr> <tr> <td><u>S₄</u></td> <td><u>50m未満</u> <u>80%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>60%</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率(S₁、S₂、<u>S₃</u>または<u>S₄</u>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価(注1)×設計数量＋加算額総金額(注2) (注1) 設計単価＝{標準の市場単価×(1+S₀/100またはS₁/100、S₂/100、S₃/100、<u>S₄/100</u>)}×(K₁×K₂) (注2) 加算額総金額＝加算額×総数量</p> <p>【省略】</p>	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ <u>S₄</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	区 分		記号	吹付砕工	ラス張工	加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	250m以上 500m未満 <u>20%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>20%</u>	S ₂	100m以上 250m未満 <u>30%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>35%</u>	S ₃	<u>50m以上</u> 100m未満 <u>50%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>45%</u>	<u>S₄</u>	<u>50m未満</u> <u>80%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>60%</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75	<p>X～2020 吹付砕工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ S₂ S₃ <u>—</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>記号</th> <th>吹付砕工</th> <th>ラス張工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>500m以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>250m以上 500m未満 <u>10%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>15%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m以上 250m未満 <u>20%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>30%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>—</u> 100m未満 <u>40%</u></td> <td><u>—</u> 250 m²未満 <u>40%</u></td> </tr> <tr> <td><u>—</u></td> <td><u>—</u></td> <td><u>—</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率(S₁、S₂、<u>—</u>または<u>S₃</u>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価(注1)×設計数量＋加算額総金額(注2) (注1) 設計単価＝{標準の市場単価×(1+S₀/100またはS₁/100、S₂/100、S₃/100、<u>—</u>)}×(K₁×K₂) (注2) 加算額総金額＝加算額×総数量</p> <p>【省略】</p>	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ <u>—</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	区 分		記号	吹付砕工	ラス張工	加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	250m以上 500m未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>15%</u>	S ₂	100m以上 250m未満 <u>20%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>30%</u>	S ₃	<u>—</u> 100m未満 <u>40%</u>	<u>—</u> 250 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75	<p>表内、字句の追加</p> <p>表内、字句及び数値の追加、改正</p> <p>字句の追加及び改正</p> <p>字句の追加</p>
規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																																																																				
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																				
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ <u>S₄</u>																																																																																																					
		補正係数	時間的制約を受ける場合		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																	
			ラス張工で法面清掃を必要としない場合		ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																																																		
区 分		記号	吹付砕工	ラス張工																																																																																																				
加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																																				
		S ₁	250m以上 500m未満 <u>20%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>20%</u>																																																																																																				
		S ₂	100m以上 250m未満 <u>30%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>35%</u>																																																																																																				
		S ₃	<u>50m以上</u> 100m未満 <u>50%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>45%</u>																																																																																																				
		<u>S₄</u>	<u>50m未満</u> <u>80%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>60%</u>																																																																																																				
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15																																																																																																				
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75																																																																																																				
規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																																																																				
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																				
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ <u>—</u>																																																																																																					
		補正係数	時間的制約を受ける場合		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																	
			ラス張工で法面清掃を必要としない場合		ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																																																		
区 分		記号	吹付砕工	ラス張工																																																																																																				
加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																																				
		S ₁	250m以上 500m未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>15%</u>																																																																																																				
		S ₂	100m以上 250m未満 <u>20%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>30%</u>																																																																																																				
		S ₃	<u>—</u> 100m未満 <u>40%</u>	<u>—</u> 250 m ² 未満 <u>40%</u>																																																																																																				
		<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>																																																																																																				
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15																																																																																																				
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75																																																																																																				

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																				
<p>X～2040 鉄筋挿入工（ロックボルト工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">現場条件</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>200m以上 0%</td> <td>200m以上 0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>100m以上 200m未満 <u>20%</u></td> <td>100m以上 200m未満 <u>20%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m未満 <u>35%</u></td> <td>100m未満 <u>35%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率（S₁またはS₂）と時間的制約を受ける場合の補正係数（K₁）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p>	区 分		記号	現場条件			I	II	III	加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-	S ₁	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	-	S ₂	100m未満 <u>35%</u>	100m未満 <u>35%</u>	-	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-	<p>X～2040 鉄筋挿入工（ロックボルト工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">現場条件</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>200m以上 0%</td> <td>200m以上 0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>100m以上 200m未満 <u>10%</u></td> <td>100m以上 200m未満 <u>10%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m未満 <u>25%</u></td> <td>100m未満 <u>25%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率（S₁またはS₂）と時間的制約を受ける場合の補正係数（K₁）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p>	区 分		記号	現場条件			I	II	III	加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-	S ₁	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	-	S ₂	100m未満 <u>25%</u>	100m未満 <u>25%</u>	-	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-	<p>表内、数値の改正</p>
区 分				記号	現場条件																																																																	
		I	II		III																																																																	
加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-																																																																	
		S ₁	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	-																																																																	
		S ₂	100m未満 <u>35%</u>	100m未満 <u>35%</u>	-																																																																	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15																																																																	
	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-																																																																	
区 分		記号	現場条件																																																																			
			I	II	III																																																																	
加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-																																																																	
		S ₁	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	-																																																																	
		S ₂	100m未満 <u>25%</u>	100m未満 <u>25%</u>	-																																																																	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15																																																																	
	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-																																																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3020 防護柵設置工（横断・転落防止柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高 70 cm以上 125 cm以下の防護柵設置工（横断・転落防止柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 新設・更新、撤去工事。</p> <p>(2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 事故後の復旧工事（撤去）</p> <p><u>(2) 生活道路用柵の場合。</u></p> <p><u>(3) 防護柵（P種）〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。</u></p> <p><u>(4) 高さが 125 cm超の場合。</u></p> <p><u>(5) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。</u></p> <p><u>(6) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。</u></p> <p><u>(7) 勾配が 2 割未満（1：2.0 未満）の階段部、法面に設置する場合。</u></p> <p><u>(8) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p>【省略】</p>	<p>X～3020 防護柵設置工（横断・転落防止柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高 70 cm以上 125 cm以下の防護柵設置工（横断・転落防止柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 新設・更新、撤去工事。</p> <p>(2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 事故後の復旧工事（撤去）</p> <p><u>(2) 防護柵（P種）〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。</u></p> <p><u>(3) 高さが 125 cm超の場合。</u></p> <p><u>(4) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。</u></p> <p><u>(5) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。</u></p> <p><u>(6) 勾配が 2 割未満（1：2.0 未満）の階段部、法面に設置する場合。</u></p> <p><u>(7) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加 番号の改正</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																																																																																																																																																																								
2 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】 2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】 (2) 加算率・補正係数の数値 表2-3-2 加算率・補正係数の数値				2 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】 2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】 (2) 加算率・補正係数の数値 表2-3-2 加算率・補正係数の数値				表内、字句及び数値の追加、削除、改正																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">防護柵設置 (横断・転落防止柵)</th> <th rowspan="2">防護柵 撤 去</th> <th colspan="3">部材設置・撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th>コンクリート 建込</th> <th>プレキャストコンクリート ブロック建込、</th> <th>ビームまたは パネルの 設置</th> <th>ビームまたは パネルの撤去</th> <th>根巻きコンクリート 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 25%</td> <td>100m未満 35%</td> <td>100m未満 25%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>50m未満 40%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.25</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>K₃</td> <td colspan="3">2.90</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>K₄</td> <td colspan="3">2.00</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>K₅</td> <td colspan="3">1.45</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率 (S₁またはS₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) <u>防護柵設置の施工規模は、土中建込、コンクリート建込、プレキャストコンクリートブロック建込、それぞれ1工事の全体数量で判断する。</u></p> 【省略】				区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去			土中建込	コンクリート 建込	プレキャストコンクリート ブロック建込、	ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置	加算率 施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 25%	100m未満 35%	100m未満 25%	—	—	—	—	S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	1.35	1.25	1.35	1.35	1.25	夜間作業	K ₂	1.35	1.50	1.35	1.50	1.50	1.35	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—			支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—			支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">防護柵設置 (横断・転落防止柵)</th> <th rowspan="2">防護柵 撤 去</th> <th colspan="3">部材設置・撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th>————— —————</th> <th>プレキャストコンクリート ブロック建込、 コンクリート建込</th> <th>ビームまたは パネルの 設置</th> <th>ビームまたは パネルの撤去</th> <th>根巻きコンクリート 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td>————— —————</td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 25%</td> <td>————— —————</td> <td>100m未満 35% (25%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>50m未満 40%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.25</td> <td>————— (1.25)</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.35</td> <td>————— (1.35)</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>K₃</td> <td colspan="3">2.90</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>K₄</td> <td colspan="3">2.00</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>K₅</td> <td colspan="3">1.45</td> <td>—</td> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率 (S₁またはS₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) <u>加算率・補正係数の () 内の係数は、プレキャストコンクリートブロック建込に適用する。</u></p> 【省略】				区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去			土中建込	————— —————	プレキャストコンクリート ブロック建込、 コンクリート建込	ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置	加算率 施工規模	S ₀	100m以上 0%	————— —————	100m以上 0%	—	—	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 25%	————— —————	100m未満 35% (25%)	—	—	—	—	S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	————— (1.25)	1.35	1.35	1.35	1.25	夜間作業	K ₂	1.35	————— (1.35)	1.50	1.50	1.50	1.35	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—			支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—			支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—			字句の改正
区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)				防護柵 撤 去	部材設置・撤去																																																																																																																																																																									
		土中建込	コンクリート 建込	プレキャストコンクリート ブロック建込、	ビームまたは パネルの 設置		ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置																																																																																																																																																																								
加算率 施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	—	—																																																																																																																																																																								
	S ₁	50m以上 100m未満 25%	100m未満 35%	100m未満 25%	—	—	—	—																																																																																																																																																																								
	S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																								
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	1.35	1.25	1.35	1.35	1.25																																																																																																																																																																								
	夜間作業	K ₂	1.35	1.50	1.35	1.50	1.50	1.35																																																																																																																																																																								
	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—																																																																																																																																																																									
	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—																																																																																																																																																																									
	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—																																																																																																																																																																									
区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去																																																																																																																																																																										
		土中建込	————— —————	プレキャストコンクリート ブロック建込、 コンクリート建込		ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置																																																																																																																																																																								
加算率 施工規模	S ₀	100m以上 0%	————— —————	100m以上 0%	—	—	—	—																																																																																																																																																																								
	S ₁	50m以上 100m未満 25%	————— —————	100m未満 35% (25%)	—	—	—	—																																																																																																																																																																								
	S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																								
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	————— (1.25)	1.35	1.35	1.35	1.25																																																																																																																																																																								
	夜間作業	K ₂	1.35	————— (1.35)	1.50	1.50	1.50	1.35																																																																																																																																																																								
	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—																																																																																																																																																																									
	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—																																																																																																																																																																									
	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—																																																																																																																																																																									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3030 防護柵設置工（落石防護柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防護柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵（ストーンガード）設置および撤去に適用し、柵高は4m以下、支柱間隔は3mとする。</p> <p>(2) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 柵高が1.5m未満、または4mを超える場合。</p> <p>(2) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材なし）の場合。</p> <p>(3) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材付）で柵高が3mを超える場合。</p> <p>(4) 落雪（せり出し）防護柵設置工。</p> <p>(5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。</p> <p>(6) 高エネルギー吸収柵の場合。</p> <p>(7) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>(8) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</p> <p>【省略】</p>	<p>X～3030 防護柵設置工（落石防護柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防護柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵（ストーンガード）設置および撤去に適用し、柵高は4m以下、支柱間隔は3mとする。</p> <p>(2) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 柵高が1.5m未満、または4mを超える場合。</p> <p>(2) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材なし）の場合。</p> <p>(3) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材付）で柵高が3mを超える場合。</p> <p>(4) 落雪（せり出し）防護柵設置工。</p> <p>(5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。</p> <p>(6) 高エネルギー吸収柵の場合。</p> <p>(7) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>(8) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3040 防護柵設置工（落石防止網）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防止網）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 資材持ち上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）の新設工事。 <u>(2) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。</u></p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 落石防止網（繊維網）設置工。 (2) ロープ伏工および密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 (3) ポケット式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）。 (4) アンカーの設置がコンクリートの基礎による場合。 <u>(5) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。</u> <u>(6) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>X～3040 防護柵設置工（落石防止網）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防止網）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 資材持ち上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）の新設工事。</p> <hr/> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 落石防止網（繊維網）設置工。 (2) ロープ伏工および密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 (3) ポケット式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）。 (4) アンカーの設置がコンクリートの基礎による場合。</p> <hr/> <p><u>(5) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p> <p>字句の追加 番号の改正</p>

改 正											現 行											備 考					
X～4000 道路標識設置工												X～4000 道路標識設置工												備考			
1 適用範囲												1 適用範囲															
【省略】												【省略】															
2 市場単価の設定												2 市場単価の設定															
2-1 市場単価の構成と範囲												2-1 市場単価の構成と範囲															
【省略】												【省略】															
2-3 加算率・補正係数												2-3 加算率・補正係数															
(1) 加算率・補正係数の適用基準												(1) 加算率・補正係数の適用基準															
【省略】												【省略】															
(2) 加算率・補正係数の数値												(2) 加算率・補正係数の数値															
表2-3-2 加算率・補正係数の数値(設置)												表2-3-2 加算率・補正係数の数値(設置)															
区分		記号	標識柱・基礎設置	標識柱設置			標識板設置			添架式標識板取付金具設置		基礎設置	区分		記号	標識柱・基礎設置	標識柱設置			標識板設置			添架式標識板取付金具設置		基礎設置		
			路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋						路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋				
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-	-		加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-		-		
		S ₁	3～4基 25%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 5%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-	-				S ₁	3～4基 15%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 5%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-		-		
		S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	-	-	2基以下 25%	-	-	-				S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	-	-	2基以下 25%	-	-		-		
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05		1.05		
	夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25			夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25		1.25		
	障害物のある場合	K ₃	-	-	-	-	-	-	-	-	1.25			障害物のある場合	K ₃	-	-	-	-	-	-	-	-		1.25		
	門型標識柱の基礎設置の場合	K ₄	-	-	-	-	-	-	-	-	1.10			門型標識柱の基礎設置の場合	K ₄	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1.10	
	景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-			景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	-	-	-	-	-	-	-		-	-	
【省略】												【省略】															
表2-3-3 加算率・補正係数の数値(撤去)												表2-3-3 加算率・補正係数の数値(撤去)															
区分		記号	標識柱・基礎撤去	標識柱撤去			標識板撤去		添架式標識板撤去	基礎撤去	区分		記号	標識柱・基礎撤去	標識柱撤去			標識板撤去		添架式標識板撤去	基礎撤去						
			路側式	片持式	門型式	案内	案内以外						路側式	片持式	門型式	案内	案内以外										
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-		加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-							
		S ₁	3～4基 25%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-				S ₁	3～4基 15%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-							
		S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	-	2基以下 25%	-	-				S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	-	2基以下 25%	-	-							
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05							
	夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35			夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35							
【省略】												【省略】															

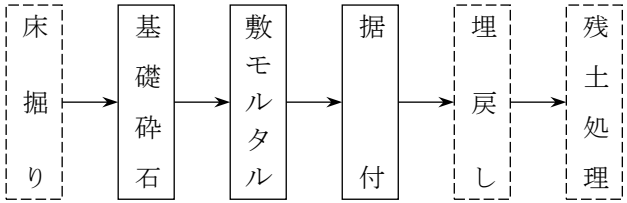
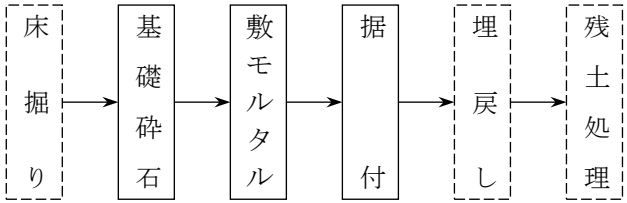
表内、数値の改正

表内、数値の改正

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																						
<p>X～4020 区画線工 [標準単価]</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 適用に当たっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取り扱いは、下表の通りとする。 【省略】</p> <p><参考資料> 標準的な材料使用量 ・ 溶融式 (手動)</p> <table border="1" data-bbox="192 735 1335 1123"> <caption>1,000m当り</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">適 用</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>破 線</th> <th colspan="2">ゼブラ</th> <th>矢印・記号・文字</th> </tr> <tr> <th>30 cm</th> <th>30 cm</th> <th>45 cm</th> <th>15 cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗 料</td> <td>厚 1.5 mm (厚 1.0mm)</td> <td>kg</td> <td>1130 (780)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> </tr> <tr> <td>厚 1.5 mm排水性舗装 (厚 1.0 mm) "</td> <td>kg</td> <td>1695 (1170)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> </tr> <tr> <td>ガラスビーズ</td> <td>JIS R 3301 1号</td> <td>kg</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>プライマー</td> <td>トラフィックペイント 接着用</td> <td>kg</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽 油</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="4">L</td> <td><u>73</u></td> <td><u>77</u></td> <td><u>89</u></td> <td><u>100</u></td> </tr> <tr> <td>排水性舗装</td> <td><u>77</u></td> <td><u>81</u></td> <td><u>94</u></td> <td><u>105</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>66</u></td> <td><u>70</u></td> <td><u>81</u></td> <td><u>91</u></td> </tr> <tr> <td>排水性舗装で未供用区間</td> <td><u>70</u></td> <td><u>74</u></td> <td><u>85</u></td> <td><u>96</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズ、プライマーはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス等の費用は主材料 (燃料、ガラスビーズ、プライマー、燃料) の 5%を計上する。</p> <p>・ ペイント式 (車載式)</p> <table border="1" data-bbox="192 1260 1335 1543"> <caption>1,000m当り</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">適 用</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>実 線</th> <th>破 線</th> </tr> <tr> <th>15 cm</th> <th>15 cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗 料</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td rowspan="2">L</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>常温式で加熱する場合</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガラスビーズ</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td rowspan="2">kg</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>常温式で加熱する場合</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽 油</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="2">L</td> <td><u>33</u></td> <td><u>40</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>26</u></td> <td><u>31</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料 (燃料、ガラスビーズ、燃料) の 3%を計上する。</p>	名 称	適 用	単 位	破 線	ゼブラ		矢印・記号・文字	30 cm	30 cm	45 cm	15 cm	塗 料	厚 1.5 mm (厚 1.0mm)	kg	1130 (780)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	厚 1.5 mm排水性舗装 (厚 1.0 mm) "	kg	1695 (1170)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	50	50	75	25	プライマー	トラフィックペイント 接着用	kg	50	50	75	25	軽 油	供用区間	L	<u>73</u>	<u>77</u>	<u>89</u>	<u>100</u>	排水性舗装	<u>77</u>	<u>81</u>	<u>94</u>	<u>105</u>	未供用区間	<u>66</u>	<u>70</u>	<u>81</u>	<u>91</u>	排水性舗装で未供用区間	<u>70</u>	<u>74</u>	<u>85</u>	<u>96</u>	名 称	適 用	単 位	実 線	破 線	15 cm	15 cm	塗 料	加熱式で施工する場合	L	70	70	常温式で加熱する場合	50	50	ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59	常温式で加熱する場合	39	39	軽 油	供用区間	L	<u>33</u>	<u>40</u>	未供用区間	<u>26</u>	<u>31</u>	<p>X～4020 区画線工 [標準単価]</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 適用に当たっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取り扱いは、下表の通りとする。 【省略】</p> <p><参考資料> 標準的な材料使用量 ・ 溶融式 (手動)</p> <table border="1" data-bbox="1439 735 2582 1123"> <caption>1,000m当り</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">適 用</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>破 線</th> <th colspan="2">ゼブラ</th> <th>矢印・記号・文字</th> </tr> <tr> <th>30 cm</th> <th>30 cm</th> <th>45 cm</th> <th>15 cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗 料</td> <td>厚 1.5 mm (厚 1.0mm)</td> <td>kg</td> <td>1130 (780)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> </tr> <tr> <td>厚 1.5 mm排水性舗装 (厚 1.0 mm) "</td> <td>kg</td> <td>1695 (1170)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> </tr> <tr> <td>ガラスビーズ</td> <td>JIS R 3301 1号</td> <td>kg</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>プライマー</td> <td>トラフィックペイント 接着用</td> <td>kg</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽 油</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="4">L</td> <td><u>80</u></td> <td><u>84</u></td> <td><u>98</u></td> <td><u>110</u></td> </tr> <tr> <td>排水性舗装</td> <td><u>84</u></td> <td><u>89</u></td> <td><u>103</u></td> <td><u>116</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>73</u></td> <td><u>77</u></td> <td><u>89</u></td> <td><u>100</u></td> </tr> <tr> <td>排水性舗装で未供用区間</td> <td><u>77</u></td> <td><u>81</u></td> <td><u>94</u></td> <td><u>105</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズ、プライマーはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス等の費用は主材料 (燃料、ガラスビーズ、プライマー、燃料) の 5%を計上する。</p> <p>・ ペイント式 (車載式)</p> <table border="1" data-bbox="1439 1260 2582 1543"> <caption>1,000m当り</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">適 用</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>実 線</th> <th>破 線</th> </tr> <tr> <th>15 cm</th> <th>15 cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗 料</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td rowspan="2">L</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>常温式で加熱する場合</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガラスビーズ</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td rowspan="2">kg</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>常温式で加熱する場合</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽 油</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="2">L</td> <td><u>34</u></td> <td><u>41</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>27</u></td> <td><u>32</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料 (燃料、ガラスビーズ、燃料) の 3%を計上する。</p>	名 称	適 用	単 位	破 線	ゼブラ		矢印・記号・文字	30 cm	30 cm	45 cm	15 cm	塗 料	厚 1.5 mm (厚 1.0mm)	kg	1130 (780)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	厚 1.5 mm排水性舗装 (厚 1.0 mm) "	kg	1695 (1170)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	50	50	75	25	プライマー	トラフィックペイント 接着用	kg	50	50	75	25	軽 油	供用区間	L	<u>80</u>	<u>84</u>	<u>98</u>	<u>110</u>	排水性舗装	<u>84</u>	<u>89</u>	<u>103</u>	<u>116</u>	未供用区間	<u>73</u>	<u>77</u>	<u>89</u>	<u>100</u>	排水性舗装で未供用区間	<u>77</u>	<u>81</u>	<u>94</u>	<u>105</u>	名 称	適 用	単 位	実 線	破 線	15 cm	15 cm	塗 料	加熱式で施工する場合	L	70	70	常温式で加熱する場合	50	50	ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59	常温式で加熱する場合	39	39	軽 油	供用区間	L	<u>34</u>	<u>41</u>	未供用区間	<u>27</u>	<u>32</u>	<p>表内、数値の改正</p> <p>表内、数値の改正</p>
名 称				適 用	単 位	破 線	ゼブラ		矢印・記号・文字																																																																																																																																																																															
	30 cm	30 cm	45 cm			15 cm																																																																																																																																																																																		
塗 料	厚 1.5 mm (厚 1.0mm)	kg	1130 (780)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)																																																																																																																																																																																		
	厚 1.5 mm排水性舗装 (厚 1.0 mm) "	kg	1695 (1170)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)																																																																																																																																																																																		
ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	50	50	75	25																																																																																																																																																																																		
プライマー	トラフィックペイント 接着用	kg	50	50	75	25																																																																																																																																																																																		
軽 油	供用区間	L	<u>73</u>	<u>77</u>	<u>89</u>	<u>100</u>																																																																																																																																																																																		
	排水性舗装		<u>77</u>	<u>81</u>	<u>94</u>	<u>105</u>																																																																																																																																																																																		
	未供用区間		<u>66</u>	<u>70</u>	<u>81</u>	<u>91</u>																																																																																																																																																																																		
	排水性舗装で未供用区間		<u>70</u>	<u>74</u>	<u>85</u>	<u>96</u>																																																																																																																																																																																		
名 称	適 用	単 位	実 線	破 線																																																																																																																																																																																				
			15 cm	15 cm																																																																																																																																																																																				
塗 料	加熱式で施工する場合	L	70	70																																																																																																																																																																																				
	常温式で加熱する場合		50	50																																																																																																																																																																																				
ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59																																																																																																																																																																																				
	常温式で加熱する場合		39	39																																																																																																																																																																																				
軽 油	供用区間	L	<u>33</u>	<u>40</u>																																																																																																																																																																																				
	未供用区間		<u>26</u>	<u>31</u>																																																																																																																																																																																				
名 称	適 用	単 位	破 線	ゼブラ		矢印・記号・文字																																																																																																																																																																																		
			30 cm	30 cm	45 cm	15 cm																																																																																																																																																																																		
塗 料	厚 1.5 mm (厚 1.0mm)	kg	1130 (780)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)																																																																																																																																																																																		
	厚 1.5 mm排水性舗装 (厚 1.0 mm) "	kg	1695 (1170)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)																																																																																																																																																																																		
ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	50	50	75	25																																																																																																																																																																																		
プライマー	トラフィックペイント 接着用	kg	50	50	75	25																																																																																																																																																																																		
軽 油	供用区間	L	<u>80</u>	<u>84</u>	<u>98</u>	<u>110</u>																																																																																																																																																																																		
	排水性舗装		<u>84</u>	<u>89</u>	<u>103</u>	<u>116</u>																																																																																																																																																																																		
	未供用区間		<u>73</u>	<u>77</u>	<u>89</u>	<u>100</u>																																																																																																																																																																																		
	排水性舗装で未供用区間		<u>77</u>	<u>81</u>	<u>94</u>	<u>105</u>																																																																																																																																																																																		
名 称	適 用	単 位	実 線	破 線																																																																																																																																																																																				
			15 cm	15 cm																																																																																																																																																																																				
塗 料	加熱式で施工する場合	L	70	70																																																																																																																																																																																				
	常温式で加熱する場合		50	50																																																																																																																																																																																				
ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59																																																																																																																																																																																				
	常温式で加熱する場合		39	39																																																																																																																																																																																				
軽 油	供用区間	L	<u>34</u>	<u>41</u>																																																																																																																																																																																				
	未供用区間		<u>27</u>	<u>32</u>																																																																																																																																																																																				

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考				
・区画線消去（削り取り式）燃料使用量 1,000m当り					・区画線消去（削り取り式）燃料使用量 1,000m当り					表内、数値の改正				
			15 cm換算					15 cm換算						
名 称	単位				名 称	単位								
軽 油	L	62			軽 油	L	67							
ガソリン	L	35			ガソリン	L	37							
・ペイント式（手動式） 1,000m当り					・ペイント式（手動式） 1,000m当り					表内、数値の改正				
		実 線		ゼブラ				実 線			破 線			
		15 cm換算		15 cm換算				15 cm換算		15 cm換算				
名 称	適 用	単位			名 称	適 用	単位			名 称	適 用	単位		
塗 料	常温式	L	50		塗 料	常温式	L	50		塗 料	常温式	L	50	
ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39		ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39		ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39	
軽 油	供用区間	L	19		軽 油	供用区間	L	20		軽 油	供用区間	L	24	
	未供用区間		17			18		21						
ガソリン	供用区間	L	2.7		ガソリン	供用区間	L	2.6		ガソリン	供用区間	L	3.1	
	未供用区間		2.5			2.4		2.8						
(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料（燃料、ガラスビーズ、燃料）の3%を計上する。					(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料（燃料、ガラスビーズ、燃料）の3%を計上する。									
【省略】					【省略】									

改 正	現 行	備 考																																																																												
<p>X～7000 水路構造物工〔標準単価〕</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>U・V型側溝</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>  <p>(注1) 側溝本体、基礎砕石の材料費は含まない。 (注2) 敷モルタルの材料費（ロス含む）は含む。 (注3) 据付に必要なクレーン及びカッターブレード、コンクリートカッター、目地モルタル、U・V型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 <u>(注4) 側溝本体の切断により生じる粉塵の処理については、別途考慮する。</u> <u>(注5) 基面整正は含まない。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L=1,000 を使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が 1,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₁</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=4,000 を使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₂</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid red;">—</td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₃</td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₄</td> </tr> <tr> <td>基礎砕石を施工しない場合</td> <td>基礎砕石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₅</td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₆</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	標準単価			機	労	材	U・V型側溝	○	○	×	規格・仕様	適用基準	記号	備考	L=1,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 1,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L=4,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂			—	法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	基礎砕石を施工しない場合	基礎砕石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆		<p>X～7000 水路構造物工〔標準単価〕</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>U・V型側溝</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>  <p>(注1) 側溝本体、基礎砕石の材料費は含まない。 (注2) 敷モルタルの材料費（ロス含む）は含む。 (注3) 据付に必要なクレーン及びカッターブレード、コンクリートカッター、目地モルタル、U・V型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。</p> <p><u>(注4) 基面整正は含まない。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L=1,000 を使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が 1,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₁</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=4,000 を使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₂</td> </tr> <tr> <td><u>L=5,000 を使用する場合</u></td> <td><u>使用する側溝本体の長さ（L）が 5,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</u></td> <td style="text-align: center;"><u>K₃</u></td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₄</td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₅</td> </tr> <tr> <td>基礎砕石を施工しない場合</td> <td>基礎砕石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₆</td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align: center;">K₇</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	標準単価			機	労	材	U・V型側溝	○	○	×	規格・仕様	適用基準	記号	備考	L=1,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 1,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L=4,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	<u>L=5,000 を使用する場合</u>	<u>使用する側溝本体の長さ（L）が 5,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</u>	<u>K₃</u>	法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	基礎砕石を施工しない場合	基礎砕石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇		<p>字句の追加番号の改正</p> <p>表内、字句の削除及び改正</p>
工 種		標準単価																																																																												
	機	労	材																																																																											
U・V型側溝	○	○	×																																																																											
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																											
L=1,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 1,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																											
L=4,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																												
		—																																																																												
法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃																																																																												
法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄																																																																												
基礎砕石を施工しない場合	基礎砕石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅																																																																												
再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆																																																																												
工 種	標準単価																																																																													
	機	労	材																																																																											
U・V型側溝	○	○	×																																																																											
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																											
L=1,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 1,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																											
L=4,000 を使用する場合	使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																												
<u>L=5,000 を使用する場合</u>	<u>使用する側溝本体の長さ（L）が 5,000 mm の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</u>	<u>K₃</u>																																																																												
法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄																																																																												
法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅																																																																												
基礎砕石を施工しない場合	基礎砕石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆																																																																												
再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇																																																																												

F 水路工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

Q 海岸保全

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

改 正		現 行										備 考
Q 海岸保全		Q 海岸保全										
Q～3100 供用係数		Q～3100 供用係数										
1 供用係数		1 供用係数										
1-1 海上供用係数		1-1 海上供用係数										
【省略】		【省略】										
参考2 就業時間別の船員供用係数		参考2 就業時間別の船員供用係数										
船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (1ワッチ制)		船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (1ワッチ制)										
係 数 ラ ン ク	船 舶 供 用 係 数 (α)	就 業 時 間 別 の 船 員 供 用 係 数 (β)								備 考		
		就 業 8 時 間		就 業 9 時 間		就 業 10 時 間		就 業 11 時 間				
		[超勤時間 0h]		[超勤時間 1h]		[超勤時間 2h]		[超勤時間 3h]				
		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]				
		船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員			
1	1.65	1.20	1.20	<u>1.31</u>	<u>1.31</u>	<u>1.42</u>	<u>1.42</u>	<u>1.53</u>	<u>1.54</u>			
2	1.80	1.30	1.30	<u>1.41</u>	<u>1.41</u>	<u>1.52</u>	<u>1.52</u>	<u>1.63</u>	<u>1.64</u>			
3	2.05	1.45	1.45	<u>1.56</u>	<u>1.56</u>	<u>1.67</u>	<u>1.67</u>	<u>1.78</u>	<u>1.79</u>			
4	2.25	1.60	1.60	<u>1.71</u>	<u>1.71</u>	<u>1.82</u>	<u>1.82</u>	<u>1.93</u>	<u>1.94</u>			
5	2.45	1.70	1.70	<u>1.81</u>	<u>1.81</u>	<u>1.92</u>	<u>1.92</u>	<u>2.03</u>	<u>2.04</u>			
6	2.65	1.80	1.80	<u>1.91</u>	<u>1.91</u>	<u>2.02</u>	<u>2.02</u>	<u>2.13</u>	<u>2.14</u>			
7	2.90	1.95	1.95	<u>2.06</u>	<u>2.06</u>	<u>2.17</u>	<u>2.17</u>	<u>2.28</u>	<u>2.29</u>			
8	3.20	2.15	2.15	<u>2.26</u>	<u>2.26</u>	<u>2.37</u>	<u>2.37</u>	<u>2.48</u>	<u>2.49</u>			
9	3.70	2.40	2.40	<u>2.51</u>	<u>2.51</u>	<u>2.62</u>	<u>2.62</u>	<u>2.73</u>	<u>2.75</u>			
船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (2ワッチ制)		船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (2ワッチ制)										
係 数 ラ ン ク	船 舶 供 用 係 数 (α)	就 業 時 間 別 の 船 員 供 用 係 数 (β)								備 考		
		就 業 16 時 間		就 業 18 時 間		就 業 20 時 間		就 業 22 時 間				
		[超勤時間 0h]		[超勤時間 2h]		[超勤時間 4h]		[超勤時間 6h]				
		[深夜時間 1h]		[深夜時間 3h]		[深夜時間 4h]		[深夜時間 6h]				
		船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員			
1	1.65	1.21	1.21	<u>1.34</u>	1.35	<u>1.47</u>	<u>1.47</u>	<u>1.60</u>	<u>1.60</u>			
2	1.80	1.31	1.31	<u>1.44</u>	1.45	<u>1.57</u>	<u>1.57</u>	<u>1.70</u>	<u>1.70</u>			
3	2.05	1.46	1.46	<u>1.59</u>	1.60	<u>1.72</u>	<u>1.72</u>	<u>1.85</u>	<u>1.85</u>			
4	2.25	1.61	1.61	<u>1.74</u>	1.75	<u>1.87</u>	<u>1.87</u>	<u>2.00</u>	<u>2.00</u>			
5	2.45	1.71	1.71	<u>1.84</u>	1.85	<u>1.97</u>	<u>1.97</u>	<u>2.10</u>	<u>2.10</u>			
6	2.65	1.81	1.81	<u>1.94</u>	1.95	<u>2.07</u>	<u>2.07</u>	<u>2.20</u>	<u>2.20</u>			
7	2.90	1.96	1.96	<u>2.09</u>	2.10	<u>2.22</u>	<u>2.22</u>	<u>2.35</u>	<u>2.35</u>			
8	3.20	2.16	2.16	<u>2.29</u>	2.30	<u>2.42</u>	<u>2.42</u>	<u>2.55</u>	<u>2.55</u>			
9	3.70	2.41	2.41	<u>2.54</u>	2.55	<u>2.67</u>	<u>2.67</u>	<u>2.80</u>	<u>2.80</u>			
(注1) 就業時間別船員供用係数(β)の算定式		(注1) 就業時間別船員供用係数(β)の算定式										
$\beta = \beta_0 + \frac{1}{8} \times \text{割増対象賃金比} \times (1.25 \times \text{超勤時間数} + 0.25 \times \text{深夜時間数}) \div \text{ワッチ数}$ (小数3位四捨五入)		$\beta = \beta_0 + \frac{1}{8} \times \text{割増対象賃金比} \times (1.25 \times \text{超勤時間数} + 0.25 \times \text{深夜時間数}) \div \text{ワッチ数}$ (小数3位四捨五入)										
【省略】		【省略】										

表内、数値の改正

表内、数値の改正

工事積算基準等の運用

Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 589 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用</p> <p>9 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項</p> <p>〔全 般〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>労務単価の補正方法を示されたい。</p> </div> <p>1-1 時間外や深夜作業を行う工事の積算 【省略】</p> <p>4 労務単価の補正フローについて 【省略】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>近年、現行の標準歩掛では対応できない管更正工法などの新技術等の活用による積算が必要となる場合が生じるが、積算基準の適用について示されたい。</p> </div> <p>農政部制定の積算基準の取扱いや他官庁が制定した積算基準の準用等について、次のとおりとする。</p> <p>(1) 農政部制定積算基準の取扱い 農政部所管の請負工事の発注にあたっては、これにより積算すること。</p> <p>(2) 他官庁制定積算基準の取扱い 農政部制定積算基準内で積算できない場合で、建設部、水産林務部など農政部以外が制定した積算基準や他官庁制定の積算基準を準用する場合は、適用工種・範囲の検証を行い準用すること。</p> <p>(3) 別途歩掛等を策定する場合の取扱い 新技術等を活用する際に、前記(1)及び(2)が適用できない場合は、メーカー歩掛や工事資材等価格調査、見積書により新たに歩掛や施工費を策定する必要がある。 また、<u>メーカー歩掛や見積書により歩掛策定した工種について、受注者から希望がある場合は</u>、工事着手にあたり試験施工をあらかじめ行い、歩掛を検証すること（調査機関の実勢価格調査により策定した施工費は除く）。 なお、大幅にかい離した場合には、設計変更で対応すること。 見積り方法及び検証方法は、「土地改良事業等請負工事歩掛見積り要領の制定について」（平成 20 年 8 月 22 日付け事調第 571 号）によること。</p>	<p style="text-align: center;">Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用</p> <p>9 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項</p> <p>〔全 般〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>労務単価の補正方法を示されたい。</p> </div> <p>1-1 時間外や深夜作業を行う工事の積算 【省略】</p> <p>4 労務単価の補正フローについて 【省略】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>近年、現行の標準歩掛では対応できない管更正工法などの新技術等の活用による積算が必要となる場合が生じるが、積算基準の適用について示されたい。</p> </div> <p>農政部制定の積算基準の取扱いや他官庁が制定した積算基準の準用等について、次のとおりとする。</p> <p>(1) 農政部制定積算基準の取扱い 農政部所管の請負工事の発注にあたっては、これにより積算すること。</p> <p>(2) 他官庁制定積算基準の取扱い 農政部制定積算基準内で積算できない場合で、建設部、水産林務部など農政部以外が制定した積算基準や他官庁制定の積算基準を準用する場合は、適用工種・範囲の検証を行い準用すること。</p> <p>(3) 別途歩掛等を策定する場合の取扱い 新技術等を活用する際に、前記(1)及び(2)が適用できない場合は、メーカー歩掛や工事資材等価格調査、見積書により新たに歩掛や施工費を策定する必要がある。 また、<u>工事施工にあたっては、歩掛策定時に想定した現場条件と実際の現場条件が異なることが予想されるため</u>、工事着手にあたり試験施工をあらかじめ行い、歩掛を検証すること（調査機関の実勢価格調査により策定した施工費は除く）。 なお、大幅にかい離した場合には、設計変更で対応すること。 見積り方法及び検証方法は、「土地改良事業等請負工事歩掛見積り要領の制定について」（平成 20 年 8 月 22 日付け事調第 571 号）によること。</p>	<p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>(4) フロー図</p> <p>(注1) 設計変更は工事着手前に行うこと。 (注2) 試験施工を行った場合は、工事全体での最終確認を行うこと。 (注3) 継続工事等の積算にあたっては、検証結果を考慮すること。 (注4) NET I S (New Technology Information System) : 新技術情報提供システム (国交省) (注5) 工事資材等価格調査業務処理要領に基づき策定した単価で材工共一式単価も含む。</p> <p>【省略】</p>	<p>(4) フロー図</p> <p>(注1) 設計変更は工事着手前に行うこと。 (注2) 設計変更を行った場合は、工事全体での最終確認を行うこと。 (注3) 継続工事等の積算にあたっては、検証結果を考慮すること。 (注4) NET I S (New Technology Information System) : 新技術情報提供システム (国交省) (注5) 工事資材等価格調査業務処理要領に基づき策定した単価で材工共一式単価も含む。</p> <p>【省略】</p>	<p>フロー図の改正</p> <p>字句の改正</p>